



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3023 URL https://www.rasaco.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 窪田 義広 (TEL) 03(3668)8231
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	18,350	△9.0	1,122	△8.3	1,241	△10.5	839	△21.6
2020年3月期第3四半期	20,165	△10.9	1,224	0.1	1,386	3.4	1,070	14.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 932百万円(△6.7%) 2020年3月期第3四半期 999百万円(26.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	72.18	—
2020年3月期第3四半期	92.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	31,394	17,189	54.8
2020年3月期	30,420	16,713	54.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 17,189百万円 2020年3月期 16,713百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2021年3月期	—	19.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	△12.9	1,650	△16.4	1,830	△18.1	1,300	△23.4	111.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	12,910,000株	2020年3月期	12,910,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,283,137株	2020年3月期	1,283,137株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	11,626,863株	2020年3月期3Q	11,610,266株

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあり、持ち直しに向かうことが期待されるものの、新規感染者数の再拡大により先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもとで当社グループは、2020年3月期から2022年3月期までの3か年の新中期経営計画「Value Up Rasa 2021～企業価値の創造～」を掲げ、築き上げてきた経営基盤を更に強化し、社会インフラを支える付加価値創出企業として持続的な成長を目指してきました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、主に資源・金属素材関連及び化成品関連が減収となったことを受けて183億50百万円となり、前年同四半期と比べ18億15百万円(△9.0%)の減収となりました。

利益につきましては、売上の減収を受けて、営業利益は11億22百万円となり、前年同四半期と比べ1億1百万円(△8.3%)の減益となりました。また、経常利益は12億41百万円となり、前年同四半期と比べ1億44百万円(△10.5%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は8億39百万円となり、前期計上の投資有価証券売却益との比較もあることから、前年同四半期と比べ2億31百万円(△21.6%)の減益となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

資源・金属素材関連では、自動車生産の回復により一部の原料で改善の兆しが見られたものの、その他分野では需要の停滞が続いていることから、各主原料の販売は大幅に落ち込む結果となりました。関連部門の売上高は37億24百万円となり、前年同四半期と比べ17億99百万円(△32.6%)の減収となりました。また、売上減少と販売価格の低下が影響し、セグメント損失は12百万円(前年同四半期は1億74百万円の利益)となりました。

産機・建機関連では、新型コロナウイルスの影響による民間設備投資の落ち込みがあったものの、機能性材料向け機器などを含む産機関連商品の受注残売上に支えられ、関連部門の売上高は55億95百万円となり、前年同四半期と比べ31百万円(0.6%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は3億70百万円となり、前年同四半期と比べ15百万円(4.4%)の増益となりました。

環境設備関連では、環境商品に関して民間の設備投資が減速し、各種ポンプの販売が低調に推移したため、関連部門の売上高は12億32百万円となり、前年同四半期と比べ3億15百万円(△20.4%)の減収となりました。一方で、環境商品の大型整備が堅調で利益を押し上げ、セグメント利益は1億25百万円となり、前年同四半期と比べ5百万円(4.4%)の増益となりました。

プラント・設備工事関連では、大型工事を含め計画工事が予定通り完工したことにより、関連部門の売上高は40億88百万円となり、前年同四半期と比べ11億69百万円(40.1%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は4億39百万円となり、前年同四半期と比べ1億8百万円(32.7%)の増益となりました。

化成品関連では、コロナ禍の影響下、自動車分野では回復の兆しが見えるものの、電線、建材、潤滑剤の各分野での需要が低迷していることから、関連部門の売上高は35億49百万円となり、前年同四半期と比べ9億33百万円(△20.8%)の減収となりました。また、売上減収からセグメント利益は58百万円となり、前年同四半期と比べ39百万円(△39.9%)の減益となりました。

不動産賃貸関連では、新型コロナウイルス感染拡大による一部テナントからの賃料減額要請などの影響があったものの、保有不動産の有効活用による安定的な賃料収入により、関連部門の売上高は2億69百万円となり、前年同四半期と比べ0百万円(0.1%)の増収となりました。しかし、租税公課の増加などにより販管費が増加したことから、セグメント利益は1億44百万円となり、前年同四半期と比べ1百万円(△0.9%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は313億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億74百万円の増加となりました。

(流動資産)

流動資産は189億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億20百万円の増加となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金で14億52百万円の減少があった一方で、現金及び預金で7億65百万円、完成工事未収入金で8億58百万円、未成工事支出金で5億39百万円の増加があったことによるものです。

(固定資産)

固定資産は124億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億54百万円の増加となりました。

これは主に、保険積立金で2億23百万円、ソフトウェアで2億4百万円の増加があったことによるものです。

(流動負債)

流動負債は102億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億8百万円の増加となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金で9億93百万円の減少があった一方で、短期借入金で16億50百万円の増加があったことによるものです。

(固定負債)

固定負債は39億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億10百万円の減少となりました。

これは主に、長期借入金で1億96百万円の減少があったことによるものです。

(純資産)

純資産は171億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億76百万円の増加となりました。

これは主に、配当金の支払により利益剰余金が4億55百万円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が8億39百万円、その他有価証券評価差額金が89百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2020年9月18日付の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」で公表しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,280	5,046
受取手形及び売掛金	6,833	5,381
電子記録債権	1,704	1,389
完成工事未収入金	762	1,620
商品及び製品	2,498	2,754
未成工事支出金	2,091	2,631
原材料及び貯蔵品	7	9
その他	129	87
貸倒引当金	△8	△0
流動資産合計	18,299	18,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,453	4,467
減価償却累計額	△2,543	△2,623
建物及び構築物（純額）	1,910	1,843
機械装置及び運搬具	443	456
減価償却累計額	△388	△399
機械装置及び運搬具（純額）	55	56
土地	6,006	6,000
その他	1,653	1,708
減価償却累計額	△1,567	△1,601
その他（純額）	85	106
有形固定資産合計	8,058	8,007
無形固定資産		
ソフトウェア	23	227
ソフトウェア仮勘定	203	40
その他	0	0
無形固定資産合計	226	267
投資その他の資産		
投資有価証券	2,831	3,020
繰延税金資産	143	101
保険積立金	686	909
その他	181	175
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	3,835	4,199
固定資産合計	12,120	12,474
資産合計	30,420	31,394

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,787	2,794
電子記録債務	783	996
工事未払金	483	269
短期借入金	1,130	2,780
1年内返済予定の長期借入金	598	641
未払法人税等	467	223
未成工事受入金	1,157	1,801
賞与引当金	328	165
その他	783	555
流動負債合計	9,519	10,227
固定負債		
長期借入金	3,534	3,338
繰延税金負債	305	303
退職給付に係る負債	60	43
役員株式給付引当金	55	75
その他	230	215
固定負債合計	4,187	3,976
負債合計	13,707	14,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,076	2,076
資本剰余金	2,373	2,373
利益剰余金	13,219	13,603
自己株式	△1,012	△1,012
株主資本合計	16,657	17,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	146
繰延ヘッジ損益	△0	2
その他の包括利益累計額合計	55	148
純資産合計	16,713	17,189
負債純資産合計	30,420	31,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	20,165	18,350
売上原価	15,955	14,326
売上総利益	4,209	4,023
販売費及び一般管理費	2,985	2,901
営業利益	1,224	1,122
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	34	23
受取家賃	31	35
保険解約益	33	8
持分法による投資利益	87	68
その他	23	16
営業外収益合計	210	150
営業外費用		
支払利息	25	21
保険解約損	17	2
その他	4	7
営業外費用合計	47	31
経常利益	1,386	1,241
特別利益		
投資有価証券売却益	180	—
特別利益合計	180	—
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	9	—
会員権売却損	0	—
特別損失合計	10	1
税金等調整前四半期純利益	1,556	1,240
法人税等	485	401
四半期純利益	1,070	839
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,070	839

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,070	839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73	89
繰延ヘッジ損益	2	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△71	92
四半期包括利益	999	932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	999	932
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	5,523	5,540	1,548	2,892	4,483	178	20,165
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	23	—	26	—	90	141
計	5,523	5,564	1,548	2,918	4,483	269	20,306
セグメント利益	174	355	120	331	97	146	1,225

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,225
セグメント間取引消去	0
その他	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	1,224

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	3,724	5,595	1,232	4,070	3,549	178	18,350
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	18	—	91	109
計	3,724	5,595	1,232	4,088	3,549	269	18,459
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	△12	370	125	439	58	144	1,126

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,126
セグメント間取引消去	—
その他	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	1,122

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 参考情報

個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

2021年3月期第3四半期の個別業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,552	△16.5	483	△25.6	555	△24.9	372	△40.3
2020年3月期第3四半期	12,635	△11.6	649	△19.9	739	△14.7	622	9.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	31.74	—
2020年3月期第3四半期	53.20	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	18,870	13,229	70.1
2020年3月期	19,278	13,231	68.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 13,229百万円 2020年3月期 13,231百万円